

# みやはら耳鼻科通信

発行/ 医療法人 南輝 〒702-8034 岡山市南区福浜西町6番17号 ☎086-237-4133

**木曜日の診療開始！**  
**診療時間 8:00～12:30**

LINEでお得なクーポン  
配信！登録はコチラ⇒



**あけましておめでとうございます！**

新年もコロナとのバトルになりそうですが、そうなる患者さんに気を付けていただきたいのが、「**熱を出さないようにすること**」。  
耳鼻科の病気では、耳も鼻ものども熱が出ることがあります。  
今の社会情勢では「熱の原因になっている病気」でなく「熱があればコロナかも・・・」ということに意識が向きがちです。  
であれば、コロナと間違われぬように熱が出る前に治療をしてしまえばいい訳です。

では、熱が出しちゃう怖い病気「耳鼻科編」をご紹介します。

【**耳**】耳が痛くなる「**急性中耳炎**」。特にお子さんは熱が出やすいです。鼻水が出だしたら耳に鼻のばい菌がすっ飛んで悪さするので要注意。保育園や幼稚園に通っているお子さんは鼻水が黄色とか色がついてきたら中耳炎のチェックもかねてすぐに耳鼻科を受診しましょう。耳掃除のしすぎとかでおこる「**外耳炎**」これまた激痛とともに熱が出ることがあります。ついつい「耳掃除して痛っ！！」と思ったら早めに耳鼻科へ。

【**鼻**】鼻かぜと勘違いされやすい「**ちくのう症（副鼻腔炎）**」。膿のような鼻水や痰が出たりしますが、困るのが症状が多彩で、ごく一部の症状しか出ないこと。頭痛・頭の重い感じ・鼻づまり・鼻水がのどに落ちる感じ・目の奥の痛み・おでこの痛み・ほっぺたの痛み・歯の痛み（これらは振動したり、叩いたりすると痛いのもあり）。

## 睡眠時無呼吸症候群

### この病気のコワイところ

寝不足からの病気（高血圧や心臓病）  
注意力低下による交通事故を  
起こしやすいです。

### 当院の検査や治療のメリット

- 自宅で検査や治療が可能です。
- 病院へ通院する必要はありません。
- 治療開始後、**すぐに**病気の改善が可能！



「鼻かぜ」や「かぜ」は1週間とか2週間ひっぱりません。しかも困ったことにこのちくのう症、かぜ薬をお医者さんで処方されると薬をのんでいる間はちょっとましになるので、内科や小児科で「カゼが長引くねえ〜」的な感じで繰り返し通う羽目になることがあります。通うだけならまだしもこの病気も熱が出ますので、前のページに書いた症状が1週間とか続くようなら耳鼻科で早めに相談することをお勧めします。この病気になると一カ月とか薬をのまないとよくなりません。レントゲンで鼻の奥に膿がどの程度あるかによっても治療の方針が変わってきますので、レントゲンを撮ってもらって診断をきちんとつけてもらいましょう。

【**のど**】「扁桃腺が腫れた」的な症状の「**のど痛**」。咽頭炎や扁桃炎はばい菌が悪さするので抗生物質（ばい菌殺し）が効くのですが、抗生物質はお医者さんの処方がないと買えません。ドラッグストアのかぜ薬は「熱や痛みをごまかして鼻水や咳を止めるだけ」です。このかぜ薬ではばい菌がのどで暴れているのを放置しますので、熱を下げる薬の力を超えてばい菌が暴れると熱がでます。恐ろしいのがこのレベルになるとのどの腫れが半端なくない状態になっていることが多いのです。耳鼻科を受診した時にはのどの痛みや腫れのせいで「水も飲めない」状態になっていて、入院して抗生物質を毎日点滴しないといけなくなります。これだけでも十分に困るのですが、最悪なのが、のどの奥まで腫れてしまい、息ができなくなることがあるのです。こうなると入院ではなく「即緊急手術」しないと窒息死する場合があります。岡山県もごく一部の地域を除いては耳鼻科医自体も不足しており、救急外来には耳鼻科医はおりません。耳鼻科の「緊急時の対応」力は非常に脆弱（ぜいじゃく）です。コロナの厳戒態勢もあり、救命がうまくいかない可能性すらあると自分は危惧（きぐ）しております。

**特にこれからの寒い時期は耳、鼻、のどがやっかいな病気や熱とか呼吸困難といったやっかいな症状を起こしやすいので、お気を付けください。**

花粉症や鼻炎だけでなく、**のどの痛み・鼻水・咳もOK!**

スマホで**オンライン診療**ができます♪♪

詳しくはこちらから👉👉👉👉👉👉👉

